

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成 2 年退官 1958 年防衛大学卒
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

天覚山～大高山一年末の歩き納めハイキング



大高山(縦走路途上から)

年も押しつまった 12 月末、今年の歩き納めと銘打って奥武蔵・天覚山(445m)～大高山(493m)に出かけた。駅から歩き出し、駅に帰り着く頃な山ということで選んだつもりが、なかなかどうしてハードな歩き納めだった。

朝 8 時 40 分、西武池袋線東吾野駅を出発、住宅地を抜け車道が尽きた所に天覚山登山口の標識がある。沢道・尾根道分岐とあり、迷わず右の尾根道コースを選んで登り始めた。

杉林に覆われた小尾根の直登である。奥武蔵の山々は古来、「西川材」と呼ばれる良質の杉・檜材の産地とかで、この天覚山もその例に漏れず全山、杉の植林に覆われている。杉木立のお蔭で日差しは遮られるが、なかなかの急登で、ストックにすがりながらあえぎあえぎの登りとなった。日頃の運動不足をしっかりと思い知らされた。

やっとのことで 10 時、両峰神社跡の小広場に到達。天覚山頂はこの神社の奥殿めいた高みになっており、10 時 5 分山頂に到着した。山頂にはベンチがあり、

南～南西方面に眺望が広がる。大岳山、川苔山、蕎麦粒山など、馴染み

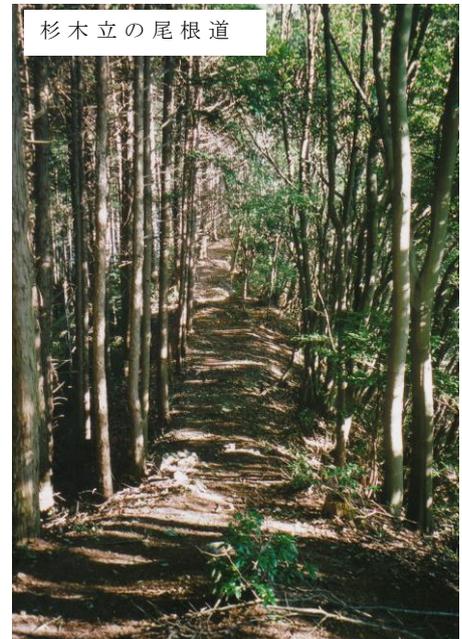


天覚山山頂

の山々が見渡せた。

眺望を楽しみながらゆっくり休憩を取り、10 時半出発で大高山に向かう。

一本道の杉林の中の尾根歩き。展望はないが、整然と並んだ杉の植林を縫う山道は良く踏まれて歩き易い。小さな登り降りはあるが、概ね坦々とした散歩道が続く。



杉木立の尾根道

最後に、ガイドブック記載の大岩から右に直角に曲がり、最後の急登を立木につかまりながら登り、12 時丁度、大高山山頂に到達した。

山頂は木立の中で眺望は殆どないが、

本日の最高点でもあり、お茶など沸かして 30 分の昼食休憩。風もなく、12 月とは思えない穏やかな日和のもと、ゆっくりと山頂滞在を楽しんだ。

大高山山頂からは前坂経由で吾野駅に下山する。最初にちょっとした岩場の急下降の後、小ピークの登り降りを繰り返しながら次第に高度を下げていく。前坂からは右に尾根を外れ、杉林の中を下る。このジグザグ路は上手にルートを切っており楽チンの下り。吾野駅到着は 13 時半だった。



大岩